

2年B組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

授業者 佐々木 美智子

- 1 題 材 名 快適に住まう 2 安全な住まい
- 2 本時の目標 家庭内の事故の原因を知り、家族の安全な住まい方を考え工夫することができる。
- 3 本時の流れ 本時3/6時

段階	学習内容	支援上の留意点	評価規準と評価方法
導入 8分	1 前時の復習	・前時までに学習した住まいのはたらきと生活とのかかわりについて振り返り、既習事項を確認する。	
展開 37分	2 課題Ⅰの提示		【工夫・創造】 室内環境について課題を見付け、調査・観察・実験などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。 (学習シート)
	住まいの中での「ヒヤリ・ハット」について考えよう		
	3 住まいの危険箇所を知り、室内環境や行動からおこり得る事故を予測する。 (個人作業→グループ活動)	・危険箇所の整理を行い、家庭内事故の種類と原因を理解させる。 ・年齢により危険箇所が変化していくことに気付くよう、支援する。	
	4 課題Ⅰに対する発表	・全体の間での確認を通して個人の考えを深めさせる。	
	5 課題Ⅱの提示		
	家族が安心して暮らせる空間を考え工夫しよう		
	6 危険箇所への対策を考える。 (グループでの活動)	・危険箇所をグループで再確認させ、安全対策を考えることにつなげさせる。 ・安全な室内環境の整え方を考えられずにいる生徒には、学習を振り返り、問題点を確認することから対策へつなげられるよう支援する。 ・考えを発表させることで、学習内容を深められるよう、ことばかけを行う。	
7 全体発表			
終結 5分	8 本時の振り返り	・生徒の発表をもとにして学習内容を振り返り、本時の内容を確認させる。	
	9 次時の予告		

4 指導にかかる思い

日常生活の場に潜む危険に気付かせ、自分や家族にとって安全な室内環境の改善につなげられる時間になりたい。